第３期のしろ創生総合戦略における
数値目標・重要業績評価指標（ＫＰＩ）、重要検証指標の概要について

１　数値目標・ＫＰＩに対する達成状況

第３期総合戦略に掲げている４つの基本目標に対応する数値目標は４項目、各施策の進捗を示す重要業績評価指標（ＫＰＩ）は２７項目あり、目標値に対する達成状況（Ａ～Ｅ）は次のとおりです。

２　評価方法

①単年評価（計算式：単年達成率＝単年実績／単年目標値×１００）

単年評価（点数）	条件
ａ（１０点）	単年達成率が１００％以上
ｂ（　７点）	単年達成率が１００％未満で９０％以上
ｃ（　５点）	単年達成率が９０％未満で７０％以上かつ実績値が前年度以上
ｄ（　４点）	単年達成率が９０％未満で７０％以上かつ実績値が前年度未満
ｅ（　１点）	単年達成率が７０％未満

②累積評価（評価初年度のため、評価方法を累積評価としている指標の評価は R7 単年実績の達成率で算出）

（計算式：累積達成率＝(R7 実績値)／(R7 目標値)）×１００

累積評価（点数）	条件
ア（１０点）	累積達成率が１００％以上
イ（　７点）	累積達成率が１００％未満で８０％以上
ウ（　５点）	累積達成率が８０％未満

③総合評価

総合評価	単年評価の場合（合計点）	累積評価の場合（合計点）
Ａ（１７点以上）	ａ（１０×２＝２０）	ａ－ア（１０＋１０＝２０） ａ－イ（１０＋　７＝１７） ｂ－ア（　７＋１０＝１７）
Ｂ（１４～１６点）	ｂ（７×２＝１４）	ａ－ウ（１０＋　５＝１５） ｃ－ア（　５＋１０＝１５） ｂ－イ（　７＋　７＝１４） ｄ－ア（　４＋１０＝１４）
Ｃ（１０～１３点）	ｃ（５×２＝１０）	ｂ－ウ（　７＋　５＝１２） ｃ－イ（　５＋　７＝１２） ｄ－イ（　４＋　７＝１１） ｅ－ア（　１＋１０＝１１） ｃ－ウ（　５＋　５＝１０）
Ｄ（　７～　９点）	ｄ（４×２＝８）	ｄ－ウ（　４＋　５＝９） ｅ－イ（　１＋　７＝８）
Ｅ（　６点以下）	ｅ（１×２＝２）	ｅ－ウ（　１＋　５＝６）

基本目標１　多様なニーズに応える雇用機会と労働環境をつくる

①数値目標（１）新規高等学校卒業者就職率（能代山本）

年　度	R5 基準値	R6	R7	R8	R9	R10 （目標値）	単位	評価
目　標	48.9	50.0	54.0	56.0	58.0	60.0	%	B
実　績	45.0	55.1	52.7				%	
要因分析	全国的な働き手不足により、特に首都圏等の給料や福利厚生が手厚くなっている。そのため、高卒者本人とその親の県外志向が高まっていることも地元就職率の低下の要因として考えられる。							

②R7 重要業績評価指標（ＫＰＩ）　地元企業人材育成支援事業の利用者数　ほか９項目

全体の件数	A	B	C	D	E
１０ （100%）	5 （50.0%）	4 （40.0%）	0 （0.0%）	1 （10.0%）	0 （0.0%）

基本目標２　能代への定着・回帰と新しい人の流れをつくる

①数値目標（１９）市への相談を経て移住した世帯数

年　度	R5 基準値	R6	R7	R8	R9	R10 （目標値）	単位	評価
目　標	50	55	74	78	80	80	世帯	A
実　績	66	73	92				世帯	
要因分析	首都圏等での移住相談会への参加や、移住相談窓口「のしろ暮らす」の運営による相談体制の充実・強化、若年世帯向けの支援等の継続的な取組が移住者の増加につながっているものと考えられる。							

②R7 重要業績評価指標（ＫＰＩ）　移住相談件数のうちＵターンした世帯数ほか７項目

全体の件数	A	B	C	D	E
8 （100%）	3 （37.5%）	0 （0.0%）	1 （12.5%）	0 （0%）	4 （50.0%）

基本目標３　出会い・結婚・出産・子育ての希望をかなえる地域をつくる

①数値目標（３３）婚姻率（人口千人あたり）

年　度	R5 基準値	R6	R7	R8	R9	R10 （目標値）	単位	評価
目　標	－	－	2.3	2.3	2.3	2.3	‰	B
実　績	2.3	2.4	2.1				‰	
要因分析	コロナ禍を経た出会いの機会の減少や、価値観・ライフスタイルの多様化などを背景に、婚姻率は下降傾向にある。結婚に伴う経済的負担を軽減するため、結婚祝い金や結婚新生活支援事業を実施しているものの、婚姻率の回復には至っていない。結婚に対するニーズや意識の変化を把握し、より効果的な支援のあり方を検討する必要がある。 ※R7 実績は推定値 （秋田県衛生年鑑が公表されていないため、市の婚姻届出数より推計）							

②R7 重要業績評価指標（ＫＰＩ）　男女の出会いや交流イベント等への参加人数ほか２項目

全体の件数	A	B	C	D	E
3 （100%）	1 （33.3%）	1 （33.3%）	1 （33.3%）	0 （0.0%）	0 （0.0%）

基本目標４　安心な暮らしと魅力あるまちをつくる

①数値目標（４１）自主防災組織設置率

年　度	R5 基準値	R6	R7	R8	R9	R10 （目標値）	単位	評価
目　標	73.0	80.0	61.4	62.9	64.4	65.8	%	A
実　績	58.6	58.8	64.1				%	
要因分析	自治会・町内会宛てに制度の趣旨説明と設立の勧奨により、自主防災組織についての認識が広がった。また、設立手続きの支援により、負担軽減が図られたことが想定される。							

②R7 重要業績評価指標（ＫＰＩ）　市民活動支援センター登録団体数ほか５項目

全体の件数	A	B	C	D	E
6 （100%）	1 （16.7%）	3 （50.0%）	2 （33.3%）	0 （0%）	0 （0%）

集計表

①数値目標

	A	B	C	D	E	計
R7	2	2	0	0	0	4

②重要業績評価指標（ＫＰＩ）

	A	B	C	D	E	計
R7	１０	8	4	1	4	２７

３　重要検証指標の状況

①転入・転出増減数（望む方向：転入者数の増加と転出者数の減少）

年	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
増減数	△231	△272	△216	△136	△121	△146	△213			
転入者数	1,176	1,032	1,053	1,194	1,162	1,072	1,034			
転出者数	1,407	1,304	1,269	1,330	1,283	1,218	1,247			

②合計特殊出生率(望む方向：出生率と出生数の増加)※出生数と女性人口の維持・増加

年	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
出生率	1.40	1.59	1.34	1.23	1.03	1.06	未公表※			
出生数	215	219	210	173	145	147	147※			
女性人口 (15～49 歳)	7,074	6,872	6,844	6,587	6,382	6,135	5,824			
男性人口 (15～49 歳)	7,470	7,166	7,333	7,180	6,692	6,692	6,481			

女性人口及び男性人口は各年の「秋田県の人口（各年の 10 月 1 日現在）…秋田県公表」により引用。

※R7…出生数は「R7 秋田県衛生統計年鑑」より引用し確定予定。(現在未公表のため、市市民保険課より引用し、暫定値)。　出生率は上記に加え、「e-Stat」(政府統計の総合窓口）にて母の年齢（５歳階級）別出生数の R7 最新値が公表されていないため算出不可。